

令和5年度
南区地区懇談会
報告書



主催：南区連合町内会長連絡協議会

目次

南区地区懇談会について／開催概要／今年度の特徴

1

各地区の開催概要

- 中村 2
区制80周年を迎えるにあたり、
中村地区の歴史を振り返る
- 蒔田 3
もう一度見直し住みやすい街づくりを
目指して
- 井土ヶ谷 4
①各町内会・自治会の防災対策
②風水害対策について
- 永田みなみ台 5
団体の将来に向けた仲間づくり
～子どもたちの成長を支えて～
- 堀ノ内睦町 6
住みよい街づくりに向けた防犯対策!!
- 太田東部 7
犯罪を未然に防ぐ我がまちの防犯の
取組
- 大岡 8
より良い大岡地区のために
- 六ツ川 9
『笑顔でつながる六ツ川』の実践に
向けて
- 南永田山王台 10
安全・安心の街づくりのために
空地・空き家にしないために！
- 北永田 11
デジタル化社会に向けた取組に
ついて
- 本大岡 12
より住み良いまちづくりに向けて
- 六ツ川大池 13
地域で支え合える「まち」づくり
～防災・安心・安全～
- 太田 14
防災拠点での障害者やペットの対応に
ついて
- 寿東部 15
防災について
- 別所 16
「地域の見守り活動」の推進に向けて
- お三の宮 17
防災について

参加者のアンケート結果

18

みなっちのワンポイント・アドバイス

20

南区地区懇談会について

南区地区懇談会は、昭和44(1969)年に『南区区政懇談会』として発足し、毎年開催されています。地域の皆さまが地域の課題を共有し、意見交換ができる場として、区内全16地区連合町内会のエリアごとに開催されており、南区の特徴ある取組の一つとなっています。開催にあたっては、各地区連合町内会が中心となり、事前の準備から当日の運営に至るまで、自治会町内会の多くの方々によって運営されています。

令和5年度地区懇談会は、5月11日(木)から6月30日(金)までの約2か月にわたり、全16地区連合で開催されました。その様子をまとめましたので、報告します。

開催概要

| | |
|--------|--------------------------|
| 主催 | 南区連合町内会長連絡協議会 |
| 開催期間 | 令和5年5月11日(木)から6月30日(金)まで |
| 開催地区 | 16地区連合 |
| 議論方法 | 教室形式4地区／グループ討議形式12地区 |
| 延べ出席者数 | 717名(地域558名、行政159名) |

今年度の特徴

今年度はグループ討議形式で開催する地区が多くありました。ここ数年はコロナ禍で、大人数で集まることが難しい状況が続きましたが、地域で顔を合わせ、日頃感じている課題を共有したり、地域の魅力を語り合うことができました。



中村

区制80周年を迎えるにあたり、
中村地区の歴史を振り返る

日時 5/11(木)18:30～

会場 区役所1階多目的ホール

参加人数 46人



開催趣旨

令和5年は南区制80周年と関東大震災から100年という節目の年であることから、中村の歴史を振り返り、地域防災について考える場としました。

内容

横浜みなみガイドボランティアの会・木村氏から、関東大震災時の中村地区について学びました。また、日頃地域のために活動している代表の方から地域への思いを語っていただき、自助・共助の大切さを再確認しました。

参加者の声

- ・日頃話を聞く機会がなかった、中村地区と関東大震災の被災状況がよく分かりました。今後の地域活動に生かしたいと思います。
- ・お互いに意識の向上につながったと思います。
- ・協力し合うことの大切さを再認識できました。



▲関東大震災時に設置された「関西村」がその後の横浜の復興の礎となっていました。

今年度は「歴史」という新しい切り口で、防災について皆さんと一緒に考えることができ良かったです。今後も隣近所のつながりを大切に、お互いに助け合っていきたいと思います。

中村地区連合町内会 吉井 肇会長



蒔田

もう一度見直し住みやすい 街づくりを目指して

日時 5/12(金)19:00～

会場 ビエラストジオ蒔田

参加人数 33人



開催趣旨

コロナ禍で地域活動ができない状況が続いたことを、地域を見つめ直す機会と捉え、これからの活動の進め方を考える場として開催しました。

内容

地域の子どもたちと高齢者の交流をテーマとし、子どもが参加しやすいイベントや学援隊の取組事例を発表しました。その後、各町内会における多世代交流の現状や、交流促進のための工夫などについて、グループごとに意見交換しました。

参加者の声

- ・他町内会の活動のやり方が参考になりました。
- ・出席されている町内会の皆様が同じ方向性を持っていることが分かり、これからの町内会のあり方が少しずつ変わっていくのではと感じました。



▲複数の町内会で協力してイベントを開催できればという意見が出ました。

グループ討議で他の町内会と情報交換することで、こういう考え方があったのかと気づくことができたと思います。懇談会で出た意見を参考に、今後の活動の進め方を考えていきたいです。

蒔田連合町内会 茅野 繁会長



井土ヶ谷

- ①各町内会・自治会の防災対策
- ②風水害対策について

| | |
|------|---------------|
| 日時 | 5/16(火)18:30～ |
| 会場 | ビエラストジオ蒔田 |
| 参加人数 | 38人 |



開催趣旨

井土ヶ谷地区ではエリアごとに起こりうる被害が異なることから、各町内会の防災対策について共有した上で、エリアごとに風水害対策について検討する場としました。

内容

防災対策委員会の資料を基に各町内会・自治会から防災対策に関する発表をしました。その後、風水害対策（避難方法・避難場所）について区危機管理・地域防災担当の説明を聞き、風水害発生時に困る事と、その対応についてエリアごとにグループ討議をしました。

参加者の声

- ・風水害時は自宅の垂直避難が大事だということが分かりました。
- ・災害時は飲料水等が品薄になると思うので、備蓄は大切だと思いました。
- ・要援護者の避難も想定した風水害対策が必要だと思いました。



▲風水害時の避難方法(垂直避難、水平避難)を学びました。

井土ヶ谷地区は上町、中町、下町のエリアごとに特徴が異なり、また昔とは変わっている部分もあるので、風水害対策について改めて話し合えて良かったです。

井土ヶ谷地区連合町内会 河野 正敏会長



永田みなみ台

団地の将来に向けた仲間づくり
～子どもたちの成長を支えて～

日時 5/18(木)19:00～

会場 南永田団地1街区集会所

参加人数 27人



開催趣旨

団地の人口減少が懸念される中で、子どもたちが生き生き暮らせる街にしていくにはどうしたらよいか、どんなことができるか、考える場としました。

内容

子どもの居場所「^{サン} ^{サン} SUNSUN」から、活動を始めたきっかけや、活動内容、今後の目標や夢などを伺い、その後、グループごとに話し合いをしました。

参加者の声

- ・子どもに関する問題点を共有できました。
- ・子どもたちと一緒に、できることを探していきたいと思いました。
- ・子育てをしている親の話を聞いて、参考にしたいです。



▲20代から80代まで幅広い層の参加があり、いろいろな立場の方と意見交換ができました。

親の就労率が上がり、子育て環境は昔とは大きく違っています。地域とのつながりが希薄になる中で、子どもに寄り添い、成長を見守っていけるような活動を進めていきたいと思います。

永田みなみ台連合自治会 常木 敬司会長



堀ノ内睦町

住みよい街づくりに向けた 防犯対策!!

日時 5/23(火)19:00~

会場 睦コミュニティハウス

参加人数 47人



開催趣旨

多様化、凶悪化する犯罪による被害を防ぎ、地域で安心して暮らすために、犯罪の実例や対策を共有して防犯意識を高める場としました。

内容

南警察署生活安全課から、最新の犯罪の傾向と正しい対策について説明を受けました。また、身近な犯罪の事例についてグループで情報交換し、効果的な防犯対策を考え共有しました。

参加者の声

- ・防犯についていろいろと勉強になりました。
- ・同じような手口がまん延していることが分かりました。
- ・様々な事例が発表され、対策も具体的に伺い参考になりました。



▲訪問者の写真を撮ろうとしたら逃げたので詐欺だと分かり、被害を防いだという事例が共有されました。

意見交換で皆さんと事例を共有し、新しい気づきを得ることができて良かったです。地域全体で防犯意識を高め、安心して暮らせる街をつくっていきたいです。

堀ノ内睦町連合町内会 四方田 信和会長



太田東部

犯罪を未然に防ぐ我がまちの 防犯の取組

日時 5/27(土)18:00～

会場 西中・前里一二・白金一町内会館

参加人数 28人



開催趣旨

特殊詐欺など身近に起こっている犯罪に対し、隣人や自治会町内会での助け合いができないか、事例を交え、考える場としました。

内容

南警察署生活安全課から、犯罪発生状況やその対策について説明を受けました。さらに、町内会から実際にあった防犯の取組事例を報告し、その後、グループごとに地域でできる防犯対策について話し合いました。

参加者の声

- ・ 実例がリアルで、印象に残りました。
- ・ 各町内会の取組を聞くことができ、参考になりました。
- ・ 地域コミュニティの連携、情報共有、相談が大事だと思いました。



▲「庚台第一町内会 防犯への取り組み例」の報告を熱心に聞いています。

事例やグループ討議を通して話を聞いたり、知識として知っていることが啓発につながると思います。地区懇談会に参加していなかった人たちにも、今日の内容を伝え、つないでいくことが犯罪防止につながると考えます。

太田東部連合町内会 木曾川 一三会長



大岡 より良い大岡地区のために

日時 6/1(木)18:30～

会場 大岡地区センター

参加人数 49人



開催趣旨

日頃の生活の中で感じていることなどを自由に出し合うことで、地域の魅力を再確認し、より良い地域をつくっていくきっかけの場として開催しました。

内容

始めに、大岡地区社会福祉協議会の取組について発表した際の動画を視聴しました。その後、グループごとに大岡の良い所を出し合い、地域をより良くするためのアイデアを共有しました。

参加者の声

- ・様々な方の意見や、各自治会での活動内容、活性化のためのアイデアを出し合うことができて良かったです。
- ・コロナの中でできなくなったことができるようになると、大岡地区がもっと盛り上がると思います。



▲子どもたちも話し合いに参加し、地域でやりたいことなどを共有しました。

いろいろな世代が集まって思いや考えを伝え合い、楽しく意見交換する場として開催することができました。今後も皆さんとアイデアを共有し、大岡地区の活動を盛り上げていきたいです。

大岡地区連合町内会 浅田 稔会長



六ツ川

『笑顔でつながる六ツ川』の 実践に向けて

| | |
|------|-----------------|
| 日時 | 6/3(土)18:00～ |
| 会場 | 六ツ川一丁目コミュニティハウス |
| 参加人数 | 24人 |



開催趣旨

第4期南区地域福祉保健計画『笑顔でつながる六ツ川』の実現のため、近隣自治会間でイベントの共同実施または相互招待を行うこととし、実現に向けた具体的な検討の場としました。

内容

自治会単独では、人数が少ない等の理由により子供会や老人会の活動ができないケースが複数出てきていることから、各自治会で行っているイベントのうち、共同実施あるいは相互招待できそうなイベントを抽出し、実現に向けた具体的な行動について、近隣自治会の会長がグループになり、検討しました。

参加者の声

- ・自治会単独では難しい点が多く、他自治会との交流・連携が必要だと感じました。
- ・各自治会の現状が分かり参考になりました。
- ・ハロウィンイベントの合同実施は面白そうだと思います。



▲イベントの共同実施について各自治会の会長同士が話し合っています。

このテーマは3年間の継続で今年は2年目になりますが、今回はより具体的な検討ができたと思います。来年に向けて、検討したことを実行していきたいと思います。

六ツ川地区連合自治会 田中 克彦会長



南永田山王台

安全・安心の街づくりのために
空地・空き家にしないために！

日時 6/7(水)18:00～

会場 永田地域ケアプラザ

参加人数 25人



開催趣旨

空き家についての現状を知り、将来、
空き家にしないために、自分たちででき
ることは何か、考える場としました。

内容

建築局住宅政策課から空き家の管理について講義を受けました。その後、「空き家にしないための備え」についてグループごとに話し合い、共有しました。

参加者の声

- ・ 講義のスライドや資料が良く、説明も分かりやすかったです。
- ・ 地域の安全安心のために空き家にしないよう、努めたいと思いました。
- ・ 空き家にしないためにも、近所とのつながりを持っておくことが必要だと感じました。



▲各町内会の空き家の数や手入れの状態（放置・所有者不明等）について、地域の方から報告をしていただきました。

空き家の問題は所有者のこともあり難しい問題ではありますが、空き家を作らないために、街の魅力を上げていくような取組を地域で考えていきたいと思えます。

南永田山王台連合町内会 岩田 春男会長



北永田

デジタル化社会に向けた 取組について

日時 6/9(金)18:00～

会場 永田小学校体育館

参加人数 46人



開催趣旨

今後、自治会町内会ではデジタル化が必要となります。地域の活動を進めていく上で、ICT（情報通信技術）をどのように活用するか、考える場としました。

内容

専門家からICTを活用した情報共有や他町内会での事例などについて講義を受けました。また、各自のスマートフォンを使い、アプリのインストールやQRコードを読み取る体験をしました。その後、今後の活用方法についてグループで話し合いました。

参加者の声

- ・各町内会で行っているICTの事例を聞くことができ、大変参考になりました。
- ・ICTは町内会の運営を活性化させるには必要だと感じました。
- ・デジタル化とアナログ対応の双方を行っていかなければならないという課題も見えました。



▲各町内会での取組や悩みなどを聞くことができました。

ICTはうまく使っていけば良いシステムであることが分かり、強力に進めることが必要だと感じました。今後、オンライン会議の実施など、我々の自治会町内会でデジタル化が進むことを期待します。

北永田地区連合町内会 紙透 功会長



本大岡

より住み良いまちづくりに 向けて

日時 6/10(土)18:30~

会場 大岡地区センター

参加人数 36人



開催趣旨

地域の担い手不足や高齢化が深刻化する中、負担軽減の一案として回覧板の電子化について知ってもらい、導入にあたっての課題などについて意見交換する場としました。

内容

始めに議題を提案した会長から電子回覧板の概要やメリット・デメリットについて説明し、その後、電子回覧板の導入にあたっての不安や課題、その対応策などについてグループで話し合いました。

参加者の声

- ・電子回覧板はこれからの時代に必要なものであり、有意義な場でした。
- ・紙の回覧板よりスピード感があり、ペーパーレスにもなるので良いと思いました。
- ・将来の理想的な形が見えたような気がします。



▲電子回覧板について他都市の状況も共有されました。

電子回覧板の導入にあたっては、電子機器を持っていない方や、操作が苦手な方を置き去りにしないよう、丁寧にサポートを行い、少しずつ進めていきたいと思えます。

本大岡地区町内会連合会 八代 治郎副会長



六ツ川大池

地域で支え合える「まち」づくり
～防災・安心・安全～

日時 6/15(木)18:30～

会場 六ツ川大池地区連合自治会館

参加人数 28人



開催趣旨

六ツ川大池地区はどのような地域なのか、普段はどのような活動をしているのかについて、住民や行政、学校の先生に知ってもらう機会としました。

内容

始めに、「防災・安心・安全」に関する取組をしている3団体から事例発表があり、その後、六ツ川大池地区の良い所や今後やってみたいことについて、グループで話し合いました。

参加者の声

- ・各団体の話が聞けて良かったです。
- ・他の自治会のイベントや開催方法について聞けて大変参考になりました。
- ・いろいろな方と顔なじみになれました。



▲小中学校の校長先生も一緒に話し合いました。

六ツ川大池地区は横のつながりが強く、協力的な方が多いということを再認識する場となりました。懇談会で出た意見は今後の活動に反映していきたいと思います。

六ツ川大池地区連合自治会 佐藤 正俊会長



太田

防災拠点での障害者やペットの対応について

日時 6/16(金)18:30～

会場 ビエラストジオ蒔田

参加人数 27人



開催趣旨

災害が起こり、私たちが避難することになった際、要援護者の対応や、ペットとの避難について、学ぶ機会としました。

内容

区危機管理・地域防災担当、高齢・障害支援課から、地域防災拠点での災害時要援護者やペットの対応について講義を受けました。その後、太田地区防災拠点の委員と学校から、現状について話をいただきました。

参加者の声

- ・太田地区の防災拠点の状況が分かりました。
- ・地域防災拠点での要援護者やペットの対応について、知ることができました。
- ・実際にペットを連れての訓練など、日頃から行うことが必要だと感じました。



▲防災拠点委員から現状についての報告を受け、共有しました。

行政、防災拠点委員、学校から災害時の対応について話を聞き、参考になりました。いつ起こってもおかしくない災害に対し、地域で事前に備えたいと思います。

太田地区町内連合会 根岸 光司副会長
阿南 嘉治副会長



寿東部 防災について

| | |
|------|---------------|
| 日時 | 6/23(金)19:00～ |
| 会場 | 区役所1階多目的ホール |
| 参加人数 | 34人 |



開催趣旨

関東大震災から100年を契機として、災害時に自分の命は自分で守るという「自助」の意識と、地域で助け合う「共助」の意識を高める場としました。

内容

横浜みなみガイドボランティアの会・木村氏から、関東大震災時の様子について講話を聞きました。その後、家庭内で日頃からできる備えについて区危機管理・地域防災担当からの説明を聞き、防災について感じたことをグループで話し合いました。

参加者の声

- ・ 関東大震災の講話を聞いて、防災について改めて意識しないといけないと思いました。
- ・ 新しい知識を身に付けることができました。
- ・ グループでの話し合いを通して、各町会共通の課題を共有することができました。



▲関東大震災時、南区に関西村があったことを学びました。

災害は忘れた頃にやってきますので、防災については継続的に考える必要があります。懇談会で学んだことを地域防災拠点訓練などで実践していきたいと思います。

寿東部連合町内会 渡邊 眞一会長



別所

「地域の見守り活動」の推進に向けて

| | |
|------|---------------|
| 日時 | 6/28(水)18:00～ |
| 会場 | 別所コミュニティハウス |
| 参加人数 | 37人 |



開催趣旨

災害時要援護者名簿の活用について事例発表と情報交換を行い、地域の見守りを進めていくきっかけの場として開催しました。

内容

別所町友会から、「みまもりたい」による隣近所の見守り活動の取組発表をしました。また、各町内会から見守りの現状と課題について共有し、今後どのように地域の見守りを進めていくかを検討しました。

参加者の声

- ・見守りの仕方を考えさせられました。
- ・高齢者が増える中、各町内会での見守りの大切さを理解できました。
- ・私たちの町内会でも何かできることがあればしたいと思います。



▲別所町友会では、「みまもりたい」を中心に「お互いちょっとだけ気に掛け合う」活動を展開しています。

各町内会の見守りの状況を知ることができました。地区懇談会ですぐに成果は出ませんが、今回共有した意見や取組を参考に、引き続き地域のつながりを大切にしていきたいです。

別所地区連合町内会 平戸 善久会長



お三の宮 防災について

日時 6/30(金)18:00～

会場 お三の宮地区連合町内会館

参加人数 33人



開催趣旨

いつ起こるか分からない「地震・火災」に対して、各家庭で行うべき「備え」について学び、家庭内の防災対策について見直すきっかけの場としました。

内容

はじめに、区危機管理・地域防災担当から、地震火災時に必要な備えについて説明を受けました。その後、地域防災拠点運営委員会拠点訓練実行委員長から地域防災拠点訓練の実施報告がありました。

参加者の声

- ・防災についてもう一度見直してみたいと思いました。
- ・感震ブレイカーの話が聞けて良かったです。
- ・災害時の具体的な対応方法が分かって良かったです。



▲家庭内での備えについて、地域の方からたくさん質問があがりました。

災害は、避難することだけでなく、普段の各家庭での備えも重要になります。どのような備えが必要なのかを地域の皆さんに知ってもらえて良かったです。

お三の宮地区連合町内会 米田 裕信会長

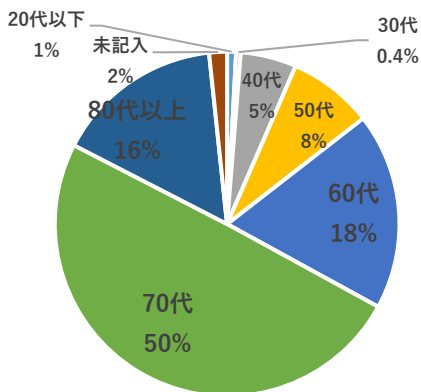
参加者のアンケート結果

地区懇談会のあり方や運営方法の改善等について検討するため、地区懇談会に参加された方々にアンケートを実施しています。今年度も、参加者の9割を超える多くの方々から回答をいただきました。アンケートへのご協力ありがとうございました。

- アンケート配付者数 518名
- アンケート回収率 92%(令和4年度 91%)
- 回答総数 476件(令和4年度 429件)

参加者の年代

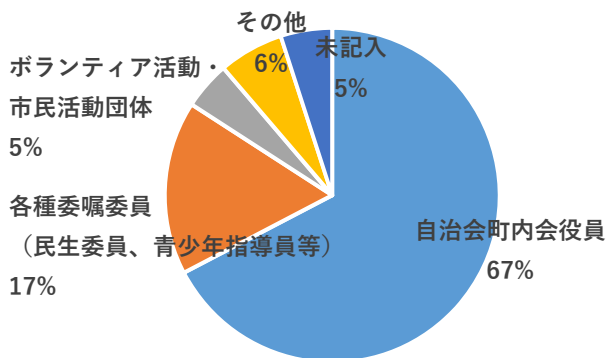
(選択肢) 20代以下 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代 ・ 70代 ・ 80代以上



全体の半数を70代が占め、次いで60代が多いです。一部の地区において、10代、30代、40代の方にもご参加いただきました。

地域との関わり

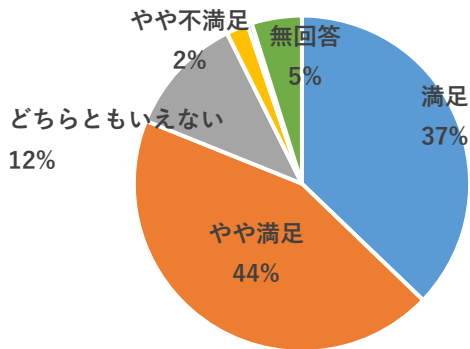
(選択肢) 自治会町内会役員 ・ 各種委嘱委員 ・ ボランティア活動、市民活動団体 ・ その他



「自治会町内会役員」が約7割、「各種委嘱委員」が約2割です。そのほか、住民の方、子ども会、役員卒業生などが参加した地区がありました。

1 地区懇談会に参加してみて、いかがでしたか。

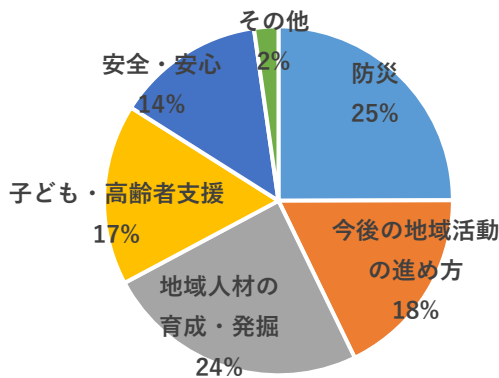
(選択肢) 満足 ・ やや満足 ・ どちらともいえない ・ やや不満足 ・ 不満足



「満足」または「やや満足」と回答した方は8割を超えました。『いろいろな立場の人と意見交換ができた活動のヒントになった』『交流も生まれた』『新しい知識を身に付けられて良かった』などのご感想をいただきました。

2 今後、地域で共有したい課題やテーマはありますか（複数回答可）

(選択肢) ① 防災 ② 今後の地域活動の進め方 ③ 地域人材の育成・発掘
④ 子ども・高齢者支援 ⑤ 安全・安心 ⑥ その他



「防災」が最も高い割合となっています。また、「地域人材の育成・発掘」も関心が高く、16地区中8地区で多くの票数を集めました。

16地区別 最も関心が高いテーマ

防災

堀ノ内睦町 大岡 北永田 本大岡
六ツ川大池(同率) 寿東部 お三の宮(同率)

今後の地域活動の進め方

蒔田 太田(同率)

地域人材の育成・発掘

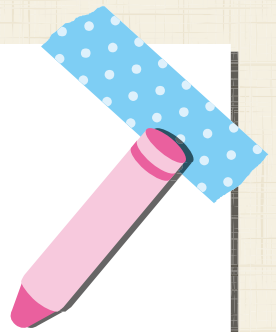
中村 井土ケ谷 永田みなみ台
太田東部 南永田山王台 太田(同率)
別所 お三の宮(同率)

子ども・高齢者支援

六ツ川 六ツ川大池(同率)



みなっちの アンポイント・アドバイス



～意見交換の進め方～

皆さんで意見交換をする際は、話し合うテーマや目的を考えることが大切です。
そこで、意見交換のステップについて、代表的な例を紹介します！

STEP1

議題や視点はどうする？

まずは意見交換を通じて何を進めたいかを明確にすることが大切だよ！

情報共有・課題解決

地域の現状や活動について情報共有したい

日ごろ課題に思っていることについてみんなで意見交換したい

取組拡大

今行っている取組を拡げたい、参加者を増やしたい

新しい取組を始めたいので、みんなの意見を聞きたい

連携促進

お隣の自治会町内会や他の団体と連携することで、活動を広げたい、担い手の負担を軽減したい

STEP2

どういう場にしたい？

全員が発言できる

全員で一度に情報共有できる

STEP3

議論の方法は？

グループ討議

教室形式

※議論の方法は他にもあります。

STEP4

議論の進め方を考えよう！

- 議題提案主旨を説明
- グループに分かれて、司会者・発表者・書記等を定める
- 各グループで話し合う
- 各グループの意見を発表
- 全体まとめ

- 議題提案主旨を説明
- 事例の紹介
- 全体で意見交換



各地区の地区懇談会の様子

グループ討議

メリット

- ・発言しやすい雰囲気活発な意見交換ができる
- ・全員が発言できる
- ・他の自治会町内会の人と顔見知りになれる

●工夫1

グループで話し合う前に、議題に関係する町内会の活動や区役所の取組を発表

- グループで話し合う論点がより明確になる

●工夫2

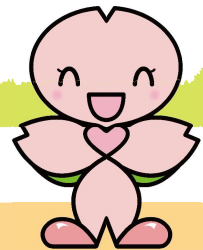
各グループに各自治会町内会が均等に分かれるよう、受付で振り分ける

- 様々な視点での意見交換ができる、顔見知りになれる

●工夫3

司会者や発表者を事前に決めておく

- スムーズに進行できる



教室形式

メリット

- ・全員が一度に情報を共有できる
- ・来場者数の変化に対応しやすい

●工夫1

議題に関係する区役所等の取組や制度を説明

- 議題の背景がより分かりやすくなる

●工夫2

各自治会町内会の取組を発表し、それぞれが抱える課題や工夫について共有


- 他の自治会町内会の様子が分かる、より具体的な議論ができる

●工夫3

座長から具体的な質問を投げかける

- 質問のポイントを絞ることで意見が出やすくなる





発行：令和5年9月
事務局：南区地域振興課地域力推進担当